

この広報紙は、市立幼小中学校・高等学校の保護者にお配りするほか、各区役所・支所・地域センター・公民館・図書館等の市の関係施設に置いてあります。また、HPでもご覧いただけます。

広がっています ESDの学び合い

一人ひとりがさまざまな問題に気づき、
学校で、公民館で、地域やまちなかで、
よりよい社会を目指す取組が広がっています。

環境を守るために
できることはなに？



私の国は、
文化や宗教の異なる
多様な人たちが一緒に
暮らしているよ。



ESDは地球人を育てる
教育。地域の課題は
世界の課題とも
つながっているよ！



意識が変わる。

内戦や干ばつ、
人口増加の影響で食糧問題が
深刻な国があるよ。



行動が変わる。

社会が変わる。

イー エス ディー ESDとは？

Education for Sustainable Developmentの
頭文字をとったもので、
「持続可能な開発のための教育」と訳されます。
ESDは、安心して暮らせる未来を
次世代に残していけるよう、よりよい社会を
目指して学び合い、行動を起こす人を
育てる取組です。

つまり
◎えーことしよーでえ!!とか
◎えーものをしそんのだいまで
ということだワン!

こらぼ
イメージキャラクター
「こらぼん♪」



気

候変動や生物多様性の
喪失、貧困や紛争など、

が国連総会において採択され
ています。

私たちが暮らす現代社会は、今
さまざまな問題に直面してい
ます。これから先、よりよい社
会、持続可能な社会を創るに
はどうすればよいかー一人ひ
とりが世界の人々や環境との
関係性の中で生きていくことを
認識し、問題を解決するための
考え方や行動を学ぶ教育が重
要であることが、1992年の
国連環境開発会議(リオサミッ
ト)で合意されました。
その後、日本の提案により、
2005年からの10年を「国
連持続可能な開発のための教
育(ESD)の10年」とすること

が国連総会において採択され
ています。
本市では、「国連ESDの10
年」が始まって以来、学校や市
民団体、企業や行政等が連携
しESD活動に取り組んでき
ました。
特に学校では学習にESD
の視点を取り入れ、さらに、ユ
ネスコスクールへの加盟を積極
的に推進しています。また、公
民館活動が盛んなことから、公
民館が地域のESD活動の拠
点となり、環境学習や文化の
継承、地域の担い手づくりを目
的とした交流活動など、多様
なテーマで持続可能な社会づ
くりを進めています。

社会教育の拠点「公民館」。
地域に密着した課題を解決することをテーマに
多様な人々がつながり、ESDを推進しています。

学校でのESDを先導する役割を担うユネスコスクール。
地域の特色を生かしたその学びは多種多様。
岡山市では、2014年度末までに51校の加盟を目指しています。

地域の学びを 未来へつなごう



子どもと大人が世代を超えて交流し
地域の担い手を育てるESD活動

地域に暮らすさまざまな年齢や立場の住民がつながり、地域の特色を生かした活動を行っている公民館。ESDの目的である持続可能な社会を実現するための「将来の担い手」を育てる役割も担っており、子どもたちにとっては、多様な人々との関わりを通して社会的な視野を広げる体験の場にもなっています。

そうした中、岡山市中区の富山公民館では、公民館と地域団体、学校等が連携し、5月に「富山子ども読書フェスティバル」を開催。地元中学生もポイントがすすんでいます。

ランテアで参加し、パネルシアターや工作などを通して地域の子どもたちとの交流を楽しみました。「中学生が小さな子どもたちに遊びを教え、寄り添うことで責任感や思いやりの心などが芽生えます」と同公民館の長畑さん。参加した大人たちも、中学生の活躍を頼もしく感じながら、地域の子どもたちの成長をほほえましく見守っている様子でした。

大人から中学生へ、中学生から子どもたちへと、公民館を拠点に、地域での人づくり、担い手づくりが進んでいます。

岡山市立
富山公民館



ESDの入り口は、
まず自分たちが暮らす地域の良さや
身近な課題を知るところから。
そして、それぞれの学びを
つなげていくことで取組の輪が
どんどん広がっていきます。
ここでは、その一例を紹介します。

岡山市立
小串小学校



38人の全校児童と地域が一体となって、
小串の自然を学び、守るESD活動

岡山市の南、海岸部に位置する小串小学校では、「豊かな海の再生」をテーマにESDの視点を取り入れたさまざまな体験学習を行っています。

その一つが、海の生物を育てる海藻「アマモ」の再生活動。7年前から地元の漁協と連携し、種子を採取して植え付け、育成した苗を地元ダイバーに渡し海へ戻す活動を行っています。一昨年から、同じ吉井川水系の源流域にある西栗倉小学校と交流学習を行い、森と川と海のつながりを考えながら、環境保全のための持続可能な活動への学びが進められています。

と発展させています。また、小串の重要な産業であるノリ養殖に関連した「のりすき体験」や「つり体験」「つぼ網体験」も実施。とれた魚は児童自らが三枚におろし、魚の楽しさや苦労を地元漁師の方と一緒に学んでいます。

「ESDの活動は、何のためにしているかという意識を持つことが大切。他の教科ともつなげながら次の活動へと広げていきます」と田村教頭。小串でしかできない体験を通じて、地域のためにできることを考え、実践する学びが進められています。



ぼけっと文庫
「ぼけっと文庫」代表の石川由美子さん。公民館主催の講演会がきっかけとなり地域のお母さんたちが始めた活動がその第一歩。地域子育ての助っ人役として、公民館や小学校などで楽しく読み聞かせなどを行っています。

1 富山保育園の先生による読み聞かせ 2 当日の受付は中学生が担当。左から古川陽日さん、徳山優花さん、岡本梨奈さん(富山中3年) 3 富山学区の幼小中に取り組んでいる「とことん富山スタンプラリー」。小学生までは、地元の行事に参加するごとに、中学生はボランティアに参加すればスタンプがもらえ、学校で表彰も 4 工作タイムは万華鏡作りにも挑戦。中学生が小さな子どもたちをサポート

公民館は小さい頃から母と一緒に利用しています。本が好きということもあり、今回の活動に興味を感じてボランティアに参加しました。自分たちでパネルシアターを発表したり、小さな子どもたちとも触れ合ったりして楽しかったです。

水上 皓太さん ▲
(富山中1年)

公民館のESDは？ 人から人へとつながる活動の輪



地域の課題から出発して、社会をよりよいものに変えていく育てる取組であるESDと、公民館が行っていることはとてもよく似ています。

公民館は、学びたいと思ったことを誰もが自由に学び、活動することのできる場です。学校以外で「こんなことをもっと知りたいな」「こんなことができればなあ」ということがあれば声をかけてください。地域で同じ思いを持った人同士の橋渡しをするのが私たちの役割。平和で豊かな社会とは何か、一緒に考えてアクションを起こすお手伝いができればと思っています。

また、最近では地域だけでなく、世界の人も協力し、問題の解決につなげていく新たな動きを担う場として公民館への期待が高まっています。アジアには日本の公民館と同じような機能を持つ「CLC(コミュニティラーニングセンター)」と呼ばれる施設があり、女性の職業訓練や識字の定着など、よりよい社会にいくための大事な役割を果たしています。10月に岡山市で行われるCLC国際会議では、約20か国の人たちが集まり、さまざまな事例とともに、将来に向けて私たちは何をすればいいの、互いに交流しながら話し合いを進めていきます。

お知らせ
ESD推進のための公民館-CLC国際会議
★期間/10月9日(木)~12日(日)
★場所/岡山コンベンションセンター

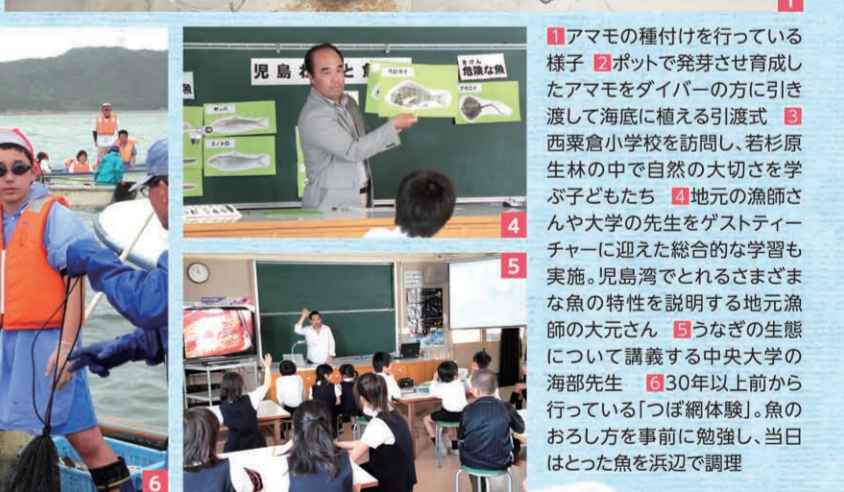
「つなげて考える」ESDの学び

「よりよい社会をつくる」という視点で、ESDの学びに積極的に取り組んでいる学校として認定されているのがユネスコスクールです。岡山市は学びの連続性を考慮した「岡山型一貫教育」の理念に基づき、中学校区単位で加盟しているのが大きな特徴で、現在10中学校区31校が加盟校として活動を推進しています。

ESDの大きな特徴は、体験したことを次の学習へとつなげていく点。例えば総合的な学習の時間に、地域のゴミを清掃する「グリーン作戦」を行います。ESDの考え方では、この体験を単発で終わらせるのではなく、次に岡山市のゴミ事情について調べたり、さらには、ゴミが増えるとうなるのか、地球温暖化など世界的な環境問題へと視野を拡大しながら学習を深めていきます。自分たちの行動が地域や社会にどのような影響を及ぼすのか、そして自分たちの将来にどうつながっていくのかといったことを「つなげて考える」ことで、社会にあるさまざまな問題に気づき、具体的に行動しようという態度を育むのがねらいです。ユネスコスクールでは、それぞれに異なる地域の特色を生かし、多様な活動が行われています。



お知らせ
市立学校の児童生徒によるESD活動の発表
★期日/11月7日(金)~8日(土)
★場所/岡山コンベンションセンター



活動への思い
うなぎ漁師として、また元PTAとして小串小学校に何かしたいという思いで5年前から子どもたちと一緒に「つり体験」などを行っています。子どもたちの中には魚にあまり馴染みがない子もいます。実際に海に出て魚を釣る、自分でさばいて食べる体験を通して、釣りの楽しさや自然の大切さを伝えていきたいですね。

大元 智朗さん ▲
(地元の漁師さん)

活動を振り返って
小串小学校では、漁師の方が届けてくださる新鮮なアミや特産のノリを給食の材料に使っています。かきあげやつくだににすると、子どもたちも喜んで食べてくれます。地元の恵みをおいしくいただくことで、地域への感謝も深まります。これからは、食を通じてESDの学びを支えていきます。

佐藤 裕子さん ▲
(小串小-給食調理員)

活動を振り返って
アマモは、海の中で酸素をつくり、小魚が住む場所になったりするなど、海の環境を守るためにとても役に立ちます。西栗倉小学校と交流し、一緒に勉強することで、海と山がつながっていることもわかりました。これからは活動を続け、海がきれいになって、たくさんの魚が育ってほしいと思います。

岡本 実桜さん ▲
(小串小6年)

ESDを始めるには、
まず自分の地域を知るところから
あなたの住んでいる
地域の「宝物」を
大募集!

あなたが住んでいる地域の宝物について教えてください。歴史、環境、自然、特産物、生き物、人などなんでもOK。自慢したいものと、なぜそれを宝物と思ったのか、その理由を書いて応募してください。お家の人と一緒に考えたり、学校で学んだことや地域のことを思い出したりしながら探してみてくださいね!

抽選で50名様に「こらぼん」バッジと「ESDグッズ」をプレゼント!

★たとえば...
わが家の○○畑...おじいちゃんや毎日大事に育てている○○。全国に出荷しています。
パッタ公園...たくさん虫がいます。本当は○○公園ですが、パッタを捕まえにいくので、友達みんなパッタ公園と呼んでいます。
○○学区の○○さん...昔遊びの学習でお世話になっています。こま回しの技は達人級。わたしもあんな風にこまを回してみたいです。

応募対象
市内在住の18歳未満の人
(在学は問いません)

応募方法
〒、住所、氏名、年齢(在学の方は学校名・学年)、保護者氏名、電話番号、宝物、その理由を明記のうえ、ご応募ください。あて先・応募締切は、裏面のご案内・ご感想募集と同じです。

※ご応募いただいた内容・学校名・学年(年齢)・氏名は、市のホームページに掲載します。氏名の公表が差し支える場合は、ニックネームも記載してください。

COLLABO INFORMATION

1

夏休みや休日を利用して、体験活動に参加しよう!!

●環境学習センター めだかの学校 ほか

家庭や学校以外でさまざまな学習機会を提供している社会教育施設には、図書館や公民館、美術館、自然の家などがあり、調べ学習や体験学習など、誰もが気軽に利用でき参加することができます。

特に夏休みは、各施設で子どもたちを対象にした楽しいイベントが充実。自然の中での学習会や環境教室、野外活動など、普段の生活では味わえない体験プログラムが用意されています。自分の身体を通して人やものに関わり合う「直接体験」は、子どもたちのいきいきとした感性や実践力を育てる大事な糧(かて)となります。夏休みや休日を利用して、親子や友達と活動に参加してみませんか。



少年自然の家の谷川体験



犬島自然の家のシーカヤック体験

参加してみたい!

めだかの学校「環境教室」

里山で春の味覚を収穫して食べたよ!

岡山市北区建部町にある環境学習センター「めだかの学校」では、旭川に生息する30種の淡水魚を観察できるほか、月に1回程度、「環境教室」と題した体験活動を行っています。

4月の環境教室では、12組の親子が参加し「山菜採り・野草天ぷら作り」を体験。地元在住の講師の方と一緒に、里山に自生するタケノコやたらの芽、うど、ぜんまい、甘草などを収穫し、野外料理(山菜の天ぷら)を体験しました。火おこしの場面では、炭に火が回らず苦戦する子どもたちの姿も。「牛乳パックは口が塗ってあるから最初にくべるとよく燃えるよ」など、講師の方からいろいろな知恵も教わりました。



コツを教わって、タケノコ掘りにも挑戦!!



「お茶の新芽が出ているね」と、講師の勝部さん。自生する姿を観察しながら里山を散策



子どもたちは竹を使った箸づくりにも挑戦。ナイフを動かさず、竹の方を動かすと安全に削れるよ



春の味覚をこんなに収穫! 自然の恵りにいっぱい

スーパーで買うのではなく、食材を自分で収穫して外で食べる貴重な体験ができました!

図工が好きなので、箸づくりが面白かったです。

内田温美さん、陸斗さん(芳田小5年生)親子

体験活動を実施している市の社会教育施設

環境学習センター めだかの学校 北区建部町建部上609 ☎086-722-1231
★そば打ち体験、魚とり体験、里山歩きなどの環境教室 ほか

犬島自然の家 東区犬島119-1 ☎086-947-9001
★犬島ESDキャンプ(キャンプファイヤー、犬島探険) ほか

少年自然の家 北区日応寺4 ☎086-294-3461
★ネイチャーワーク、野外炊事、谷川体験、テント宿泊、キャンプファイヤー ほか

オリेंट美術館 北区天神町9-31 ☎086-232-3636
★夏休みジュニア・オリेंट教室 ほか

各図書館(10館)
★かみしばいのじかん、おやおたのしみ会 ほか

各公民館(37館)
★夏休みフリー塾、星空観察、自然体験 ほか

※各施設のイベント情報については、広報紙「市民のひろばおかやま」施設ガイドやホームページなどで紹介しています。開催日時等詳しくは、各施設へお問い合わせください。

COLLABO INFORMATION

2

誰にも言えない、いじめなどの悩みごと。専用ダイヤルにご相談ください

●いじめ相談専用ダイヤル新設

岡山市教育相談室では、4月から新たに「いじめ相談専用ダイヤル」を設け、児童生徒、保護者の方からの相談に応じています。

「いじめを受けて学校に行けない」「友達とトラブルになってどうしていいかわからない。でも先生や親には言えない...」。そんなときには一人で抱え込まず、専用ダイヤルに電話をしてください。専門の職員が相談者のプライバシーに配慮しながら話を聞き、一緒に考えます。

また、不登校やひきこもりなどの相談にも対応しています。安心してお気軽にお電話ください。

(岡山市教育相談室 北区新道1)

■いじめ相談専用ダイヤル

レスキュー

☎086-234-0999

■相談電話(ひきこもり、不登校、情緒や発達障害などのご相談)

☎086-224-4133

月~金曜/9:00~18:30 土曜/9:00~16:00

※上記時間外は留守番電話で受け付けています。

秘密はかたく守ります 相談は無料

教育広報紙「こらぼ」イメージキャラクターの名前が決まりました!

こらぼん♪



昨年12月10日号で告知した愛称募集に64件の応募がありました。その結果、津島小学校6年生の吉川千尋(きっかわちひろ)さんが命名したキャラクター名が選ばれました。

たくさんのいい名前を考えてくれたみんなありがとう!

ご意見・ご感想をお聞かせください!

教育広報紙「こらぼ」へのご意見・ご感想をお寄せください。お寄せいただいた方の中から、抽選で図書カード1,000円分を5名の方にプレゼントします。



「こらぼVOL.2」に寄せられたご意見・ご感想

●学校は先生といるんの方との協力で成り立っているのだと再認識しました。特に私の頃にはなかったスクールカウンセラーという職業が興味深かったです。(30代)

●閉ざされがちな教育現場ですが、活発で明るい様子が伝わり、こちらまで元気になります。各学校に興味深い特徴があると思います。ぜひ、いろいろな学校の様子を伝えてください。(30代)

応募方法 〒、住所、氏名、年齢(または学年)、電話番号を明記の上、下記のとおり先へご応募ください。

【はがき・封書】〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 岡山市教育委員会事務局教育企画総務課 行

【FAX】086-234-4141 【Eメール】korabo@city.okayama.jp

応募締切 平成26年9月1日(月) 当日消印有効

※お寄せいただいた個人情報は、業務目的以外には使用いたしません。 ※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

